

4. 計画段階配慮事項の選定

4. 計画段階配慮事項の選定

4.1 環境影響要因の抽出

本事業に伴う環境影響を及ぼすおそれがある要因は、「事前配慮指針」（平成 25 年 4 月 堺市）（以下、「指針」という。）の項目を勘案し、事業特性及び地域特性を踏まえて、表 4.1-1 に示す内容を抽出した。

なお、本事業は既存鉄道路線における軌道の改良事業であるが、基本的に現在の事業区域における事業計画であり、土地の新たな改変に係る要因は抽出していない。

表 4.1-1 事業の区分と環境影響要因

区 分	環境影響要因
工事の実施	建設機械の稼働、建設資材等の搬出入
施設等の存在	鉄軌道（高架または地下）、付替道路（側道）の存在
施設等の供用	列車の走行

4.2 計画段階配慮事項の選定及び選定理由

抽出した環境影響要因と指針に示される環境要素の関連から、選定した計画段階配慮事項を表 4.2-1 に示す。

また、計画段階配慮事項として選定する理由は表 4.2-2 に、また、選定しない理由は表 4.2-3 に示すとおりである。

表 4.2-1 計画段階配慮事項の選定結果

環境要素	環境影響要因	工事の実施				施設等の存在	施設等の供用 列車の走行	選定する理由 選定しない理由
	細区分 細区分	機械稼働	工事車両	土地掘削	道路存在			
大気質	NOx, SPM	○	○					建設機械及び工事車両の排ガスによる影響が想定されるため
	粉じん	○	○	○				建設機械及び工事車両並びに土地掘削による影響が想定されるため
水質・底質	水の濁り 有害物質							法等に準拠した排水処理をするため 有害物質を使用しないため
地下水	有害物質							有害物質を使用しないため
騒音	騒音	○	○				○	建設機械及び工事車両並びに列車の走行による影響が想定されるため
振動	振動	○	○				○	建設機械からの影響が想定されるため
低周波音	低周波音	○						建設機械からの影響が想定されるため
悪臭	悪臭物質							悪臭物質等は発生しないため
地盤沈下	地盤沈下				○			土地掘削や道路の地下工事、トンネル工事等による影響が想定されるため
土壌汚染	特定有害物質							法に準拠した汚染土壌処理をするため
日照阻害	日照阻害						○	高架構造物の存在による影響が想定されるため
電波障害	電波障害							障害が明らかになった場合は、適切な措置により影響を回避できるため
風害	風害							風環境を変化させないため
光害	光害	○						工事用照明の使用による影響が想定されるため
コミュニティの分断	コミュニティの分断						○	踏切除却の影響が想定されるため
気象	風向・風速							風環境を変化させないため
	気温							気象を変化させないため
地象	地形/地質/土質							大規模な地形改変をしないため
水象	河川							大規模な水域改変をしないため
	ため池							
	地下水				○			土地掘削や道路の地下工事、トンネル工事等による影響が想定されるため
	海域							海域に到達しないため
陸域生態系	陸生生物							新たな土地改変は行わないため
	水生生物							法等に準拠した排水処理をするため
	陸域生態系							大規模な土地改変をしないため
海域生態系	海生生物							海域に影響しないため
	海域生態系							海域に影響しないため
自然景観	自然景観							自然景観に影響しないため
人と自然との触れ合い活動の場	人と自然との触れ合い活動の場		○				○	施工中の交通障害の影響が想定されるため
景観	都市景観						○	
	歴史的・文化的景観						○	高架化による影響が想定されるため
文化財	有形文化財							事業地内に存在しないため
	埋蔵文化財							存在の可能性はあるが、法に準拠した対応を実施するため
地球環境	地球温暖化	○	○					建設機械及び工事車両の影響が想定されるため
	オゾン層の破壊							関連物質を排出しないため
廃棄物等	一般廃棄物							発生しないため
	産業廃棄物				○			建設廃棄物の発生が想定されるため
	発生土				○			建設残土の発生が想定されるため
安全	高圧ガス							使用しないため
	危険物等							使用しないため
	交通		○				○	工事車両及び踏切除却の影響が想定されるため

表 4.2-2 計画段階配慮事項として選定する理由

環境要素		選定する理由
項目	細区分	
大気質	窒素酸化物(NO _x)、 浮遊粒子状物質(SPM)	工事中の建設機械の稼働や工事車両の走行による排気ガスの影響が想定され、複数案により発生状況が異なるため
	粉じん等	土地の掘削、建設機械の稼働及び工事車両の走行の影響が想定され、複数案により発生状況が異なるため
騒音	騒音	工事に係る建設機械の稼働や工事車両の走行、また供用時の列車走行による騒音及び振動の影響が想定され、複数案により発生状況が異なるため
振動	振動	
低周波音	低周波音	建設機械の稼働の影響が想定され、複数案により発生状況が異なるため
地盤沈下	地盤沈下	土地掘削及びトンネル工事等により周辺の地下水が低下し、地盤沈下が発生する可能性があるため
日照阻害	日照阻害	高架構造物の存在による日照阻害の影響が想定され、複数案により日影の発生状況が異なるため
光害	光害	夜間工事による漏れ光の影響が想定され、複数案により発生状況が異なるため
コミュニティの分断	コミュニティの分断	立体化により市街地の分断が解消されるものの、複数案により分断の解消状況が異なるため
水象	地下水	トンネル工事、道路の地下化工事及び高架工事により地下水位や流動状況への影響が想定され、複数案により地下掘削状況が異なるため
人と自然との 触れ合い活動 の場	人と自然との 触れ合い活動の場	施工中の交通障害による人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス障害が想定され、複数案により状況が異なるため
景観	都市景観	施設等の存在による景観への影響が想定され、複数案により影響の度合いが異なるため
	歴史的・文化的景観	
地球環境	地球温暖化	施工中の建設機械の稼働や工事車両走行に伴う地球環境への影響が想定され、複数案により温室効果ガスの排出量が異なるため
廃棄物等	産業廃棄物	工事全般において建設廃棄物が発生し、複数案により廃棄物の発生状況が異なるため
	発生土	工事による建設残土が発生し、複数案により建設残土の発生状況が異なるため
安全	交通	工事車両の発生により、周辺の交通の安全性に対する影響が複数案により異なるため、また、踏切の除却により交通の安全性が改善されるものの、複数案により状況が異なるため

表 4.2-3 計画段階配慮事項として選定しない理由

環境要素		選定しない理由
項目	細区分	
水質・底質	水の濁り	工事排水は、水質汚濁防止法及び堺市の建設工事等に関する指導基準以下の濃度にした後、下水又は公共水域に放流する計画であるため
	有害物質	有害物質の使用や発生が想定されないため
地下水	有害物質	有害物質は使用せず、汚水を地下に浸透する計画ではないため
悪臭	悪臭物質	工事及び供用時において、悪臭を発生する物質は扱わない計画であるため
土壌汚染	特定有害物質	工事で発生する建設残土について、基準不適合土壌がある場合には、土壌汚染対策法に準拠し、適切に処理を行うため
電波障害	電波障害	障害が明らかになった場合は、適切な措置により影響を回避できるため
風害	風害	施設の存在によるビル風等の風害の影響は想定されないため
気象	風向・風速、気温	施設の存在による気象の変化は発生しないと考えるため
地象	地形/地質/土質	工事において大規模な地形の改変等を行わないため
水象	河川	事業は、新たな陸域の水辺等の改変を行わない計画であり、工事及び供用時においてこれらの水象に与える影響は想定されないため
	ため池	
	海域	
陸域生態系	陸生生物	事業は、新たな陸域の改変を行わない計画であり、既存生態系への影響は想定されないため
	陸域生態系	
	水生生物	工事排水は、水質汚濁防止法及び堺市の建設工事等に関する指導基準以下の濃度にした後、下水又は公共水域に放流する計画であり、水生生物への影響は想定されないため
海域生態系	海生生物	海域における改変、海域への排水は行わない計画であるため
	海域生態系	
自然景観	自然景観	市街地の計画であり、景勝地や自然景観が周辺に存在しないことから、施設等の存在による影響は想定されないため
文化財	有形文化財	事業実施区域内には有形文化財は存在せず、影響を及ぼさないため
	埋蔵文化財	施工中に埋蔵文化財が確認された場合には、堺市教育委員会と協議を行い、文化財保護法に基づき適切に対応するため
地球環境	オゾン層の破壊	オゾン層破壊物質は排出せず、影響は想定されないため
廃棄物等	一般廃棄物	施設等の供用時に排出される一般廃棄物は、既存施設と同等であり、複数案における差は生じないため
安全	高圧ガス	基本的には高圧ガス及び危険物等は使用しない計画であり、影響は想定されないため
	危険物等	